



2019-20 年度 RI テーマ  
ROTARY CONNECTS THE WORLD  
国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー

# Weekly Bulletin

## 藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2019-20 年度  
会長 ♡ 渡邊芳隆 副会長 ♡ 松浦正秋 幹事 ♡ 森竹正晃 副幹事 ♡ 鈴木健夫

例 会 第 1 3 6 5 回 お弁当配布例会/小杉苑

### ■ 会長挨拶

渡邊芳隆君

皆様、こんにちは 1 週間のご無沙汰です。いかがお過ごしでしょうか。

今朝の蓮華寺池公園の気温は 11 度でした。連休が明けてから気温が上がり始め、熱中症への警戒が必要になり始めました。

毎年、気温が上がり始める 5 月は熱中症の救急搬送が増加、去年は全国で 4484 人が搬送されており、うち 2088 人が高齢者。新型コロナウイルス感染拡大で医療現場がひっ迫する中熱中症での搬送が相次げば医療崩壊の懸念も高まります。今夏は感染防止で「マスクの夏」でもあり、マスクをすると体内に熱がこもりやすく、専門家は例年以上の熱中症対策を呼び掛けています、マスクが手放せない今年の夏を「多くの人にとって初めての経験となる」との言です。マスクを着用すると、冷たい空気が肺に届きにくく、呼吸筋の動きが活発化して息が荒くなり、体に熱がこもりやすくなる。さらに外出自粛で体が「暑さ慣れ、にないとして「入社、登校初日は決して無理をしないように」との言です。

「マスク熱中症」を避けるためには、熱を逃がすための胸元や胸を露出した服装にする、人の少ない涼しい所ではマスクを外して体を冷やすなどの工夫が必要です。マスクをしていると水分を口にする回数も減りがちなので気を付けましょう。

皆様、お身体をご自愛ください。

### ■ 出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
47/51 92.15%	51/51 100%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○内山君 ○江崎君 ○中村君 ○瀧脇君

### ■ スマイルBOX

・プレゼントありがとうございました。

小山明良君・小林正敏君・古川賢吾君  
若林秀典君・池ヶ谷勇君・阿井誠君

**スマイル累計額 485,000円**

### ■ 会員卓話

竹田敏和君

3 月トイレ・キッチン等一部の住設機器がオーダーストップとなり、現場がストップしたり、受注するも仕事が始められなくなりましたが、4 月半ばより解消され納期は通常よりかかるものの通常に近いものとなりました。

マスク・手洗いや現場でもなるべく換気をすることに心がけていますが、特別なことはしていません。ただ、4 月後半に除菌電解水給水器を購入し、会社で次亜塩素酸水を造ることが出来るようになり手洗いをした後、消毒する様にしています。事務所では加湿器も使用しています。5 月からは OB 施主さんにも配布する予定です。メンバーの方も必要な方は連絡ください。

## 中山恵喜君

新型コロナウイルスの終息に、なお長い時間がかかる様相です。業態転換やWワークを強いられる事に仮になっても困らないよう努めております。

- ・コンクリートを打設し（画像あり）
- ・植栽を施し（画像あり）
- ・外構にペンキを塗り（画像あり）



また、人生100年時代に、妻と生き別れても、死に別れても困らないように、生命保険に入る以外に、料理の実力を蓄えております。

- ・アウトドア風キーマカレー（画像あり）
- ・精度が低い、こどもの日こいのぼりおやつ（画像あり）
- ・休園中浦安テーマパーク風朝食・パンもホームベーカリー（画像あり）



今年度のテーマ「健康」ですが、昨年12月24日のクリスマスに受診した健康診断の惨憺たる結果に一念発起。4月まで9kgの減量に成功。特定保健指導の30代の管理栄養士の女性に褒められた事に気を良くして、現在体重を維持しながら「筋肉は裏切らない」のNHKの体操に日々取り組んでおります。

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
5/22(金) 第1366回	お弁当配布例会	小杉苑
5/29(金) 第1367回	創立記念日例会	小杉苑
6/5(金) 第1368回	会員卓話	理事会
6/12(金) 第1369回	会員卓話	小杉苑

## ■ 今週の一言

桑原茂君

皆様こんにちは。

私の妻との出会いは、私が最初に勤めたタミヤ模型で知り合いました。

同期入社であり、私が大卒で彼女が高卒で、1か月の研修を経て同じ営業部に配属となりました。当時私にはお付き合いをしている彼女がいたのですが、出会った時からなんとなく、今思えば、昔風ですが、『赤い糸?』で結ばれているような出会いを感じました。

あれから付き合い合って30年、結婚してから26年という月日が流れました。

今、ここに思うことは、彼女への感謝、ありがたいの気持ちです。

まずは、私と出会ってくれてありがとう・・・そして、私と結婚してくれてありがとう・・・そして、大切な娘たち3人を産んでくれてありがとう・・・そして、いつも私を一番そばで応援してくれてありがとう・・・

彼女と築き上げてきた大切な家庭をこれからも二人で共に大切にしていこうと思います。

